

2021年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	かたやま やすひこ		職 位	特別任用 常勤講師	学 位	修士 (言語教育情報)
教員氏名	片山 康彦					
アルファベット表記	Katayama Yasuhiko					
専門分野		英語教育学				
研究課題	テーマ	短大生の英語力の現状と課題				
	概要	京都経済短期大学生の英語力の現状を把握しその課題を明らかにする				
本年度 研究業績	研究費	総額：100,000 円 内訳：個人研究費 100,000 円 / 科学研究費 円 そ の 他 円				
	研究テーマ	アンケート結果による英語力と英語学習姿勢に係る考察				
	経過と到達点	年度末に分析結果をまとめ、学内で提示する				

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート、専門誌記事等					
⑦学会での口頭発表、討論者(ディスカッサント)					

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請				

2. 教 育 (本年度のみ)

		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義		
	演習	TOEIC500、TOEIC600、TOEIC800 英会話 I、総合基礎英語	TOEIC500、TOEIC600 英会話 I、英会話 II 英語フォローアップ 英語プレゼンテーションの基礎
	実習		
	教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 ◆ 演習科目 学生の実態に応じて、講義中だけでなく、講義外でも継続的に学習ができるよう、 全員面談を実施し、個別のアドバイスも併用しながら、自立学習支援に努めた。 実習科目 ◆ その他(教科書・教材等の作成を含む。)	

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

(1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

(2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

(3) 講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	

4. 特記事項（本年度のみ）

必履修科目（総合基礎英語）の評価基準が不明確なまま、従来から成績と実力の乖離が生じ、学生から不満の声があがっているとの報告を受けていたため、年度当初に担当者会議を開き、共通試験や共通評価基準を導入することで、その問題を解消した。

カリキュラムマネジメントの視点から、英語科目の位置づけ（レベルと内容）を明確にした。また次年度に向けて、学生が個々の目標や学習段階に応じて科目選択ができるよう科目登録時のオリエンテーション資料を整えた。